

D I S C L O S U R E

組合の現況

上半期ディスクロージャー

令和6年8月末現在
令和6年3月1日～令和6年8月31日

地区別総代会議／秋の地区別座談会資料

J A 綱領

— わたしたちJAのめざすもの —

わたしたちJAの組合員・役職員は、協同組合運動の基本的な定義・価値・原則（自主、自立、参加、民主的運営、公正、連帯等）に基づき行動します。そして、地球的視野に立って環境変化を見通し、組織・事業・経営の革新をはかります。さらに、地域・全国・世界の協同組合の仲間と連携し、より民主的で公正な社会の実現に努めます。

このため、わたしたちは次のことを通じ、農業と地域社会に根ざした組織としての社会的役割を誠実に果たします。

わたしたちは、

1. 地域の農業を振興し、わが国の食と緑と水を守ろう。
1. 環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築こう。
1. JAへの積極的な参加と連帯によって、協同の成果を実現しよう。
1. 自主・自立と民主的運営の基本に立ち、JAを健全に経営し信頼を高めよう。
1. 協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがいを追求しよう。

目 次

ごあいさつ	1
上半期事業経過	2
トピックス	上半期のトピックス 3
組織の概況	組合員の概況 4 役職員の概況 5
事業の概況	指導事業 6 販売事業 9 購買事業 10 金融事業 11 共済事業 13 総合相談事業 16 高齢者福祉事業・葬祭事業・組合員組織対策 17
仮決算の状況	貸借対照表・損益計算書 18 農協法に基づく開示債権の状況及び金融再生法開示債権区分に基づく債権の保全状況 19 単体自己資本比率・主要勘定の状況・有価証券時価情報 20
自己改革の実践計画	取組報告 21
地域貢献活動	22
厚農商事株式会社営業報告	27

■農業協同組合においては、中間決算は法定化されていませんが、当組合の内部規定に基づき仮決算を実施し、自主的に開示するものです。

■この資料において記載した金額は、表示単位未満を切り捨て表示していますので、合計と一致しない場合があります。なお、金額は、表示単位未満のものは「0」で表示しています。



組合員の皆さまには、日ごろよりＪＡの各事業や活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

農業・ＪＡをとりまく環境は、少子高齢化に伴う農業人口の減少や農業生産資材価格の高止まりに加え、物価高の長期化、日銀による金融政策の変更など、先行きが不透明な状況が続いています。また、食料・農業・農村基本法の改正を受け、食料安全保障や適正な価格形成の実現に向けた具体策の検討が進んでいる一方、小売店で米が一時的に品薄になり混乱が生じるなど、国内農業への注目が集まっています。さらに、神奈川県を震源とする強い地震の発生をはじめとした自然災害の頻発により、営農・生活への不安が高まっています。

このような情勢下、ＪＡあつぎは「農業を軸とする地域に根ざした協同組合」として、組合員および地域住民の農・食・暮らしに寄り添う相談機能の充実を図るとともに、厚木市都市農業支援センターとの連携を強化し、担い手・新規就農者の育成や農地利用拡大を推進することで、持続可能な地域農業の確立に向けた取り組みを展開しています。

このような情勢下、ＪＡあつぎは「農業を軸とする地域に根ざした協同組合」として、組合員および地域住民の農・食・暮らしに寄り添う相談機能の充実を図るとともに、厚木市都市農業支援センターとの連携を強化し、担い手・新規就農者の育成や農地利用拡大を推進することで、持続可能な地域農業の確立に向けた取り組みを展開しています。

令和６年度は「第16次協同組合強化運動ＪＡあつぎ3か年プラン」の中間年度として、引き続き組合員との対話に基づく自己改革の実践と進捗管理を着実に進め、支所店を中心とした魅力ある事業活動を展開し、組合員満足度の向上とつながりの強化に取り組んでいます。

本年４月には、地域農業振興の拠点として建設を進めていた営農経済センター「あぐりべえ」を竣工しました。グリーンセンターでは農業者の販路拡大と所得増大に向け、生産地と消費地が交わる都市農業の優位性を生かした運営により、地域農業の魅力発信と地産地消を推進します。米乾燥時の騒音抑制や農業機械購入費用の低減、農作業負担の軽減に向けて新設したライスセンターは９月に稼働を開始しました。消費者へ新鮮で安全・安心な地場農畜産物を供給するとともに、組合員の永続的な農業経営に寄与し、管内農業に活力をもたらす施設を目指してまいりますので、積極的なご利用をお願いいたします。

これからも、ＪＡあつぎが組合員や地域社会にとってなくてはならない存在として、皆さまとともに歩み続けるために、一層の組織や事業、経営基盤の強化を図り、組合理念の実現に結びつけてまいります。組合員の皆さまにおかれましては、引き続き組合運動にご参加賜りますようお願い申し上げます。

厚木市農業協同組合

代表理事組合長 大貫盛雄

上半期事業経過

主な実施事項			主な実施事項		
3月	4～22日	営農座談会	6月	15日	親子夢未Kidsスクール 開校式
	8日	第34回女性部協議会総会		18～27日	すずしろいきいきクラブ 開催（5地区）
	8日	第29回助け合い活動 すずしろ総会		26日	女性大学「夢未スクール」 開校式
	19日	農業塾開講式		29日	水稻追肥時期現地検討会 （7月12日まで）
	21日～	春期農業機械整備会 （4月5日まで）		7月	12～23日
25・28日	厚木市・清川村に JAバンク教材本を贈呈	17～24日	各地区納涼盆踊り大会		
4月	10日	第61回青壮年部通常総会	20日	准組合員向け活動 「葬儀サポートセミナー」	
	13・14日	苗物即売会（本所）	8月	5～18日	第9回JAあつぎカップ 少年野球大会
	20日	第67回生産組合長会 通常総会		20日～	秋期農業機械整備会 （8月28日まで）
	23日	営農経済センター 「あぐりべえ」竣工式		21・27日	農林施策要請・農林予算 要望（厚木市・清川村）
	24・25日	営農経済センター 「あぐりべえ」内覧会		22日	第14回JAあつぎ ソフトボール教室
30日	第50回女性部長大会・ 家の光大会	23日		第54回 厚木市農業まつり味覚祭 果実持寄り品評会（梨の部）	
5月	9日	法人部会通常役員総会	27日	農業塾閉講式	
	10日	第51回青色申告部会 通常役員総会	27日～	水稻収穫時期現地検討会 （9月12日まで）	
	14日	資産保全部会通常役員総会	29日	准組合員向け活動 「♪カラダ喜ぶ♪体操講座」	
	15日	新グリーンセンター 営業開始	30日	第54回 厚木市農業まつり味覚祭 果実持寄り品評会（ぶどうの部）	
	21～23日	地区別総代会議			
	25日	第61回通常総代会			

トピックス

■ 上半期のトピックス

地域農業を支える新たな情報発信基地

J Aあつぎは、地域農業を支える新たな拠点として、営農経済センター「あぐりべえ」を厚木市三田に開設しました。施設内には、収穫したもみを荷受けし、乾燥から調製までを行う「ライスセンター」と地場農畜産物や農業生産資材の取り扱いのほか、営農相談窓口を備えた「グリーンセンター」を併設。組合員や地域住民が気軽に足を運び、それぞれの目的に合わせて利用できる、地域農業の情報発信基地としての機能を発揮してまいります。



グリーンセンターのオープニングセレモニーでは、生産組合・女性部・青壮年部の代表者とJ A役員がテープカットを実施。開店の瞬間に立ち会おうと来店した多くの組合員・地域住民とともに、新たなグリーンセンターのオープンを祝いました。

開店記念フェアでは、「あつぎせせらぎ米」の特別価格販売をはじめ、農産物の詰め放題や牛乳の無料配布など、さまざまな催しが行われたほか、地場農畜産物や野菜苗、生産資材などを買い求める来店者で賑わいました。

牛乳の消費拡大へPR

6月の「牛乳月間」に合わせ、牛乳の消費拡大を呼び掛け、地域酪農をPRしようと、「夢未市」・「グリーンセンター」の2店舗で牛乳の無料配布を行いました。

社会情勢の変化による飼料価格の高騰や牛乳需要の減退など、厳しい状況が続く中、牛乳に注目が集まる機会を創出し、地域酪農の活性化につなげました。



多角的な視野でJ Aの将来を

昨今の厳しい経済情勢を踏まえ、J Aあつぎでは、将来に向けた収支改善策を中心とする実効性のある施策の立案・提案に向け、事業部門や支所店を横断した中堅職員にて構成する「将来に向けた経営基盤確立・強化プロジェクト」を6月に立ち上げました。柔軟な発想で、実践的な事業戦略や支所店戦略を策定し、持続可能な経営基盤を確立することを目指します。



組織の概況

■ 組合員の概況

1. 組合員の動き

(単位：人)

資格区分	前年度末	本年度増加	本年度減少	8月末現在
正組合員	4,166	36	90	4,112
准組合員	14,558	205	151	14,612
合計	18,724	241	241	18,724

2. 支所店別組合員・出資金の状況

(単位：人、千円)

支所店	組合員数	うち		出資金額
		正組合員	准組合員	
本所	119	—	119	7,504
依知	1,295	400	895	238,595
荻野	2,303	566	1,737	324,098
睦合	2,661	486	2,175	271,166
小鮎	2,194	560	1,634	315,174
うち小鮎	1,628	491	1,137	287,610
うち宮の里	566	69	497	27,564
玉川	1,165	324	841	176,055
南毛利	2,708	496	2,212	293,210
相川	1,303	433	870	256,508
清川	694	256	438	97,471
愛甲	997	190	807	104,526
駅前	1,457	37	1,420	79,442
北	1,033	171	862	86,688
依知南	795	193	602	135,107
合計	18,724	4,112	14,612	2,385,544

3. 総代

(単位：人)

	前年度末	本年度退任	本年度就任	本年度減少	8月末現在
総代	504	—	—	5	499

■ 役職員の概況

1. 役員

(単位：人)

区 分	前年度末	本年度退任	本年度就任	8月末現在
理事	27	27	27	27
監事	5	5	5	5
合 計	32	32	32	32

2. 職員

(単位：人)

区 分	前年度末	8月末現在		増 減	
		うち男	うち女		
管理職	82	83	68	15	1
一般職員	277	268	136	132	△9
計	359	351	204	147	△8
嘱託・パート等	134	139	34	105	5
合 計	493	490	238	252	△3

事業の概況

■ 指導事業

1. 営農指導事業

支所を基点とした営農指導員の出向く体制の充実を図り、農家所得の向上に努めました。販売農家や新規就農者への巡回指導を強化し、主要品目であるハウレンソウ・コカブ等の農産物の作付け提案や肥料・農薬・生産資材の情報提供および活用提案を行うとともに、地区の特性に合わせた講習会の開催や種苗メーカーと連携した訪問活動を実施し、出荷拡大に向けた指導に取り組みました。

生産資材等の価格高騰対策として、土壌診断を積極的に推進し、経費の削減を図るとともに、消費者への食の安全・安心の確保のため、生産履歴記帳指導および残留農薬検査を継続して実施しました。

- (1) ファーマーズシステムの分析や取引先からの意見を参考に、出荷強化が必要な農産物に対する情報提供を行いました。
- (2) 販売事業と連携して農産物買取り品目の増加を目指した作付け指導を実施し、品質・生産力の向上に努めました。
- (3) 食の安全・安心を確保するため、生産履歴システムによる農薬散布履歴の点検を行いました。また、定期的に残留農薬検査を行い、検査した品目はすべて農薬不検出もしくは残留基準値以下の結果となりました。
- (4) 水稻栽培講習会や水稻現地検討会を開催し、健苗の育成指導から追肥時期・施肥量の検討および高温時対策を指導しました。
- (5) 水稻育苗センターでは、厚木市営農集団協議会の協力のもと、健苗の供給を行いました。
- (6) ライスセンターの円滑な運営を図るため、利用予定者に対して利用方法等の個別説明を行いました。
- (7) 主要品目出荷拡大・出荷者増加のため栽培講習会を開催しました。

水稻育苗センター取扱実績

(単位：箱、%)

	令和6年3月1日～令和6年8月31日				
	計 画	実 績	前年実績	計画対比	前年対比
取 扱 箱 数	45,000	43,211	43,585	96.0	99.1

2. 地域農業対策事業

厚木市都市農業支援センターと連携し、新規就農者の相談・支援体制の強化を図るとともに、農業塾を開講することで担い手育成に努めました。

また、耕作放棄地・遊休農地の解消を目的とした農業機械レンタル制度を活用した農地利用促進や農作業受委託の拡充、鳥獣被害対策に積極的に取り組みました。

- (1) ニホンザル個体数調整については、行政と連携し、厚木市を起点とした群れの除去が完了しましたが、依然として清川村および市外の群れによる被害があります。現在は個体数調整や他群の侵入を防ぐ追い払いを強化しています。また、シカ・イノシシの被害対策については、神奈川県猟友会厚木支部と連携し、箱わなやくくりわななどを設置するとともに、ハクビシン等の中型動物については、箱わなを貸し出し、農産物の被害防止に努めました。さらに、電気柵個人助成の申請支援やセンサーカメラ・電気柵の貸出により、被害防止策の普及と効果的な防除対策の指導を行いました。
- (2) 農業塾での新規就農者の育成や農業後継者・定年帰農者等の担い手育成に取り組むとともに、厚木市都市農業支援センターが実施する農家研修制度を通じた就農希望者の支援により、担い手確保および新規就農者の受入れ体制の強化に取り組みました。
- (3) 厚木市都市農業支援センターと連携し、農地を担い手に集約するため利用権設定を推進するとともに、耕作放棄地・遊休農地の利用促進を積極的に行い、農地の利用拡大に取り組みました。
- (4) 農作業受委託の作業効率化を図るとともに、農業機械レンタル制度を活用した農地利用の促進、担い手の農作業負担の軽減等の対策に取り組みました。
- (5) 農地利用集積・獣害防護柵等の各種相談業務に対し積極的に取り組みました。
- (6) 農業労災保険の加入推進を積極的に実施し、加入者数の増加を図りました。
- (7) 農家の老後生活の充実を図るため、農業者年金の加入促進に取り組みました。
- (8) 「認定農業者確保・育成事業」について、継続的に農業経営の拡大および効率化を推進できるよう事業利用に取り組みました。

3. 食農教育事業

食を支える農に触れ、食の大切さを学ぶとともに、地域農業の理解促進と地場農畜産物の大切さを子どもたちや地域住民に広げる食農教育活動に取り組みました。

- (1) 管内の小学生とその保護者が農業体験を通じて地域農業や食の大切さを学ぶことを目的に、通年型食農教育「第15期親子夢未Kidsスクール」を開校しました。
- (2) 管内小学校に食農教育を勧める子ども雑誌「ちゃぐりん」の寄贈と併せ、JAや地域農業への理解促進を図るため、毎月1回「ちゃぐりんだより」を発行しました。
- (3) 地域住民を対象に地場農畜産物を活用した講習会の実施やInstagramのレシピ投稿を定期的に行い、地産地消の推進およびJA・地域農業への理解促進につなげました。
- (4) 児童とその保護者向けの情報誌「こどもグリーンだより」を管内の全小学生へ配布し、さまざまな食農イベントを企画・実施することにより、多くの参加者に食と農の大切さやJA・地域農業への理解促進につなげました。
- (5) ふるさと先生・食とくらしのマイスター向けに講習会を実施し、さらなる指導力の向上に努めました。

4. 生活指導事業

魅力的で主体的な女性部活動を展開し、健康で心豊かな生活を築くとともに、部員相互の絆を深めることで女性部活動の活性化に取り組みました。

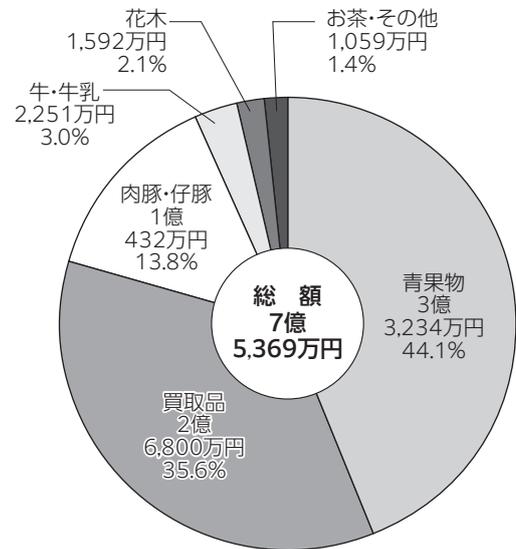
- (1) 「1部会1人増員運動」と次世代部「Neoフレミズ」の加入促進に継続的に取り組み、女性部員の増員を行いました。
- (2) 女性部のさらなる活性化と女性部員の声をJA事業に反映するため、女性部座談会を開催し、意見聴取を行いました。
- (3) JA取扱商品知識の向上や食を通じた健康増進を図るため、各地区で「お酢の料理講習会」を開催しました。
- (4) 女性部カルチャー講座「食品ロスを減らすワザ講座」を開催し、家庭でできる食品ロス削減方法を学び、SDGsの達成に向けた取り組みへの意識醸成を図りました。
- (5) 次世代を担うリーダーの育成を目的に、第16期女性大学「夢未スクール」を開校し、管内農業やJA、女性部についての理解促進を行いました。
- (6) 次世代対策強化に向け、各地区次世代を対象とした講習会を企画し、新たな仲間づくりをすすめました。

■ 販売事業

夢未市と5月中旬に営農経済センター「あぐりべえ」内へ移転したグリーンセンターをはじめ、農産物直売所を拠点として、食と農の情報発信および新鮮で安全・安心な地場農畜産物の安定供給に努めました。

また、地域貢献の一環となる移動販売車「ゆめみちゃん号」の運行や農産物宅配サービスの展開、JAあつぎアンテナショップ「Tomoni」内「夢未市出張販売所」の運営をはじめ、多様な販売方法を通じて、農家所得の向上に取り組みました。

さらに、6次化商品の販売強化をすすめるとともに、地元の大型量販店や県下ファーマーズマーケットを中心に地場農産物を定期的に販売し、供給量の底上げを図るなど、販路拡大と買取販売の取り組みを強化しました。その結果、上半期の販売実績は7億5,369万円となりました。



支所別実績

(単位：千円、%)

支 所	令和6年3月1日～令和6年8月31日				
	計 画	実 績	前年実績	計画対比	前年対比
本 所	631,800	714,612	694,223	113.1	102.9
依 知	4,650	3,110	4,186	66.9	74.3
荻 野	6,200	5,948	6,507	95.9	91.4
睦 合	1,810	1,564	1,836	86.4	85.2
小 鮎	675	501	464	74.2	108.0
玉 川	6,700	8,858	8,738	132.2	101.4
南毛利	3,000	3,962	3,199	132.1	123.9
相 川	5,835	4,426	5,983	75.9	74.0
清 川	8,650	10,713	10,784	123.8	99.3
合 計	669,320	753,697	735,925	112.6	102.4

夢未市・グリーンセンター取扱実績

(単位：千円、%)

店 舗	令和6年3月1日～令和6年8月31日				
	計 画	実 績	前年実績	計画対比	前年対比
夢 未 市	374,700	400,376	408,098	106.9	98.1
グリーンセンター	116,600	155,390	102,614	133.3	151.4

(注) 実績は本所に含まれます。

■ 購買事業

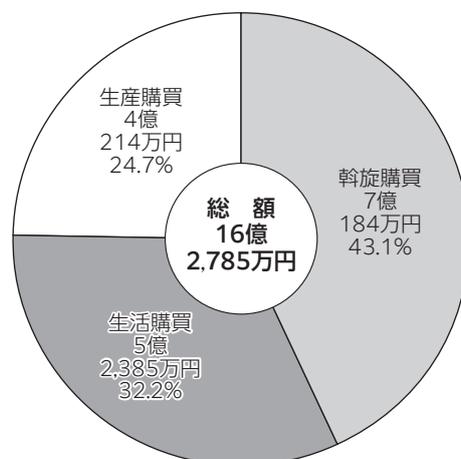
生産力の向上と生産組合回覧の充実を目的に、例年の取りまとめ企画に加え、6つの企画を新たに実施しました。特に、「スタークル豆つぶ剤」の新規取りまとめでは、共同購入の利点を生かした特別価格での提供を実現し、多くの注文がありました。

また、地産地消の取り組みの一環として、敬老プレゼント用に「足柄茶」の推進を行った結果、約330万円の取扱実績となりました。

農機では、農業機械展示予約会の開催や農繁期前に各地区へ出向く農業機械整備会の開催、農繁期休日対応による緊急時の修理対応に取り組みました。

燃料では、利用者のニーズを把握するため、ふれあい訪問を実施したほか、神奈川県LPガス物価高騰対応支援金事業への参加により、LPガス利用料金の値引きを実現し、利用者の負担軽減を図りました。

その結果、上半期購買実績は16億2,785万円の取扱高となりました。



支所別実績

(単位：千円、%)

支 所	令和6年3月1日～令和6年8月31日				
	計 画	実 績	前年実績	計画対比	前年対比
本 所	583,630	568,479	578,506	97.4	98.3
依 知	48,600	51,607	45,469	106.2	113.5
荻 野	27,740	41,911	33,825	151.1	123.9
睦 合	47,000	53,409	59,017	113.6	90.5
小 鮎	32,600	35,977	34,654	110.4	103.8
玉 川	20,400	34,080	21,236	167.1	160.5
南毛利	56,100	65,340	74,109	116.5	88.2
相 川	72,000	63,068	65,992	87.6	95.6
清 川	11,800	12,128	11,539	102.8	105.1
買取購買合計	899,870	926,004	924,352	102.9	100.2
幹旋購買	600,000	701,846	724,294	117.0	96.9
合 計	1,499,870	1,627,850	1,648,647	108.5	98.7

(注) 幹旋購買は施設に係る取扱高です。

グリーンセンター取扱実績

(単位：千円、%)

店 舗	令和6年3月1日～令和6年8月31日				
	計 画	実 績	前年実績	計画対比	前年対比
グリーンセンター	59,400	48,568	54,097	81.8	89.8

(注) 実績は本所に含みます。

金融事業

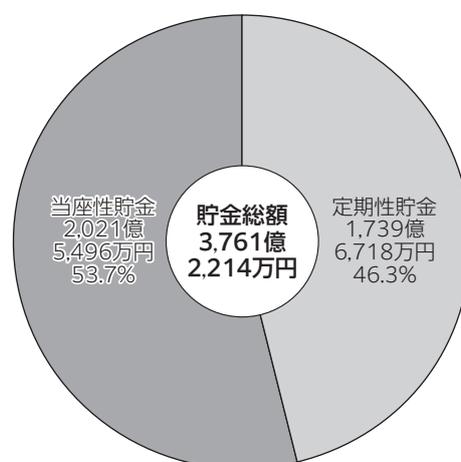
1. 貯 金

非対面チャネルの取引拡大を図り、スマートフォンやパソコン等で振り込み・残高照会、投資信託の非対面取引等ができる「JAネットバンク」・「JAバンクアプリ」の利用促進に取り組みました。

新NISAの開始により資産形成ニーズが高まった中、令和6年4月より「NISAでもらおう！よりぞうプレゼントキャンペーン」を展開することで、投資信託の販売に取り組みました。

農業所得を申告（農業収入100万円以上）している農業者およびその農業専従者に対して金利を上乗せする「農業従事者応援定期貯金」、年金指定者に対して金利を上乗せする「マル得年金定期貯金」などの取り扱いにより、貯金残高は3,761億2,214万円となりました。

また、組合員・利用者本位の業務運営を実現するための方針を掲げる中、マネー・ローンダリングおよびテロ資金供与対策による金融サービスの不正利用防止に加え、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力等との取引を排除するため、方針や規則を制定し、業務の適切性・健全性の確保に取り組んでいます。



支所店別実績

(単位：千円、%)

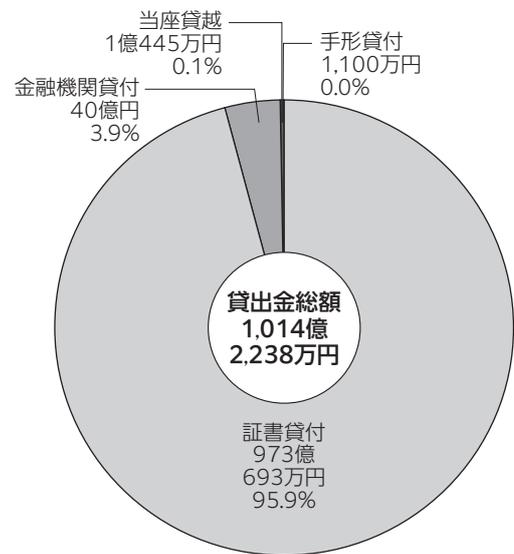
支所店	令和6年3月1日～令和6年8月31日					期首からの増減
	計 画	実 績	前年実績	計画対比	前年対比	
本 所	11,177,000	10,508,700	10,804,667	94.0	97.3	△ 1,144,702
依 知	27,160,000	27,005,844	26,685,563	99.4	101.2	△ 239,130
荻 野	37,200,000	36,544,485	36,768,834	98.2	99.4	△ 67,089
睦 合	46,500,000	46,028,170	45,764,066	99.0	100.6	△ 218,422
小 鮎	37,295,000	37,464,892	37,310,984	100.5	100.4	152,710
うち小鮎	26,895,000	26,933,298	26,818,878	100.1	100.4	47,377
うち宮の里	10,400,000	10,531,593	10,492,105	101.3	100.4	105,333
玉 川	19,960,000	20,009,771	19,938,830	100.2	100.4	128,567
南毛利	48,223,000	48,061,907	48,161,958	99.7	99.8	△ 78,013
相 川	44,330,000	45,642,258	47,245,799	103.0	96.6	△ 810,321
清 川	15,993,000	15,695,496	15,915,880	98.1	98.6	347,417
愛 甲	20,220,000	20,333,966	20,184,295	100.6	100.7	△ 113,916
駅 前	28,751,000	28,492,490	28,722,066	99.1	99.2	△ 47,932
北	19,441,500	19,559,699	19,435,165	100.6	100.6	52,485
依知南	20,700,000	20,774,462	20,561,503	100.4	101.0	228,131
合 計	376,950,500	376,122,145	377,499,615	99.8	99.6	△ 1,810,216

2. 貸出金

提案型相談活動を実践することで、農業資金や賃貸住宅等建築のための営農資金・農住資金をはじめ、住宅・マイカー・教育の個人ローンの取り扱いなど組合員・利用者のニーズに応じた資金供給に取り組みました。また、住宅ローンに関しては、営業専任による住宅関連業者への推進強化に取り組みました。

本所金融部融資課へ県下統一ローン審査業務を集約し、個人情報取り扱いのさらなる堅確化、審査業務・事務の効率化に取り組みました。

農業融資では、農業所得増大・地域活性化応援プログラムを展開することで、農業の維持・発展につながる提案・相談の拡充に努めました。また、農業者の借入負担軽減のため、利子補給や保証料助成を実施しました。その結果、資金を必要とされる組合員や地域の皆さまにご利用いただき、貸出金残高は1,014億2,238万円となりました。



支所店別実績

(単位：千円、%)

支所店	令和6年3月1日～令和6年8月31日					期首からの増減
	計画	実績	前年実績	計画対比	前年対比	
本所	17,641,470	17,259,125	17,621,048	97.8	97.9	△ 163,999
依知	11,775,000	11,796,630	11,745,321	100.2	100.4	39,014
荻野	7,785,350	7,425,833	7,726,208	95.4	96.1	△ 159,151
睦合	15,001,000	14,914,906	14,292,011	99.4	104.4	△ 15,952
小鮎	5,056,600	5,061,792	5,106,198	100.1	99.1	70,735
玉川	1,322,000	1,316,454	1,308,937	99.6	100.6	39,316
南毛利	22,175,400	23,142,190	21,705,839	104.4	106.6	934,185
相川	13,685,800	13,694,366	13,202,046	100.1	103.7	△ 55,828
清川	964,100	956,419	997,087	99.2	95.9	27
駅前	6,128,280	5,854,668	6,152,174	95.5	95.2	△ 234,610
合計	101,535,000	101,422,387	99,856,874	99.9	101.6	453,738

(注) 金融特化型店舗の総合通帳を起因とする当座貸越残高は以下の基幹支所の実績に含みます。

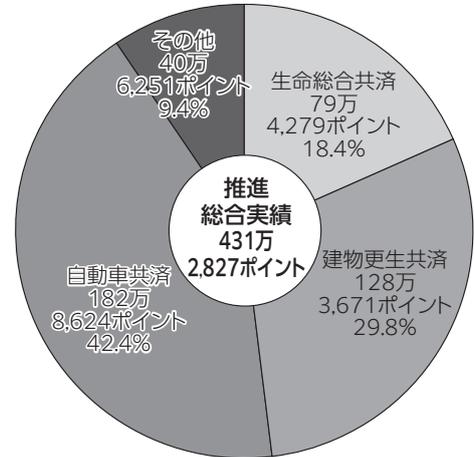
愛甲支店 ➡ 南毛利支所 宮の里支店 ➡ 小鮎支所
北支店 ➡ 依知支所 依知南支店 ➡ 依知支所

■ 共済事業

組合員・利用者の多様化するニーズに応えるため、3Q活動を基軸とした契約者フォロー活動を展開し、「ひと・いえ・くるま・農業」分野でJA共済の幅広い総合保障の提案に取り組みました。

総合相談事業から相続対策として有効な非課税枠の活用や確定申告における所得控除等、節税に直結する共済商品の提案を行いました。また、少子高齢化社会において組合員および利用者の入院・生活習慣病・介護・認知症・老後の備えなど、さまざまなリスクを見据えた保障提案について、現在の加入内容の点検とともに普及活動を展開しました。

加えて、利便性の向上のため、契約内容の確認や住所変更等の手続きを可能とするインターネットサービス「Webマイページ」の登録促進に努めました。



(1) 推進総合実績 (生命総合、建物更生、自動車、自賠責、火災、傷害、農業者賠償責任共済)・保有高支所店別実績

(単位：ポイント、%、千円)

支所店	令和6年3月1日～令和6年8月31日					
	計画	実績	前年実績	計画対比	前年対比	保有高
依知	687,500	758,013	702,015	110.3	108.0	104,440,236
荻野	368,500	442,895	428,595	120.2	103.3	54,771,788
睦合	605,000	630,342	533,691	104.2	118.1	73,114,562
小鮎	352,000	488,580	319,104	138.8	153.1	57,047,720
玉川	203,500	233,888	236,348	114.9	99.0	27,103,431
南毛利	737,000	780,039	819,042	105.8	95.2	119,003,926
相川	621,500	458,790	757,897	73.8	60.5	87,837,217
清川	110,000	137,390	142,180	124.9	96.6	17,773,625
駅前	302,500	382,886	338,877	126.6	113.0	41,164,373
合計	3,987,500	4,312,827	4,277,754	108.2	100.8	582,256,883

(注) 推進総合実績は、共済種類を統一評価できるように、共済金額等に所定の換算率を乗じて算出する指標である「推進ポイント方式」における実績です。

(2) 長期基盤新契約

支所店別実績

(単位：ポイント、%)

支所店	令和6年3月1日～令和6年8月31日					
	生命万一基盤			生存保障基盤		
	計画	実績	計画対比	計画	実績	計画対比
依知	39,050	80,209	205.4	37,785	13,641	36.1
荻野	21,450	24,408	113.8	29,700	15,707	52.9
睦合	38,500	76,878	199.7	40,673	54,826	134.8
小鮎	18,975	32,159	169.5	22,715	10,830	47.7
玉川	18,150	9,896	54.5	16,830	13,819	82.1
南毛利	39,050	63,038	161.4	41,222	79,557	193.0
相川	29,975	66,361	221.4	24,970	8,996	36.0
清川	8,250	9,003	109.1	6,325	5,663	89.5
駅前	18,700	20,066	107.3	16,280	8,643	53.1
合計	232,100	382,021	164.6	236,500	211,688	89.5

支所店	年金基盤			建物基盤		
	計画	実績	計画対比	計画	実績	計画対比
依知	13,200	28,850	218.6	124,410	166,793	134.1
荻野	11,000	7,860	71.5	63,470	86,870	136.9
睦合	13,200	24,560	186.1	92,730	96,428	104.0
小鮎	7,700	7,510	97.5	65,615	62,398	95.1
玉川	5,500	1,475	26.8	28,050	31,819	113.4
南毛利	13,200	32,205	244.0	140,415	171,710	122.3
相川	11,000	4,830	43.9	112,750	96,163	85.3
清川	2,200	799	36.3	17,985	24,022	133.6
駅前	5,500	11,160	202.9	42,075	101,351	240.9
合計	82,500	119,249	144.5	687,500	837,557	121.8

- (注) 1. 長期基盤新契約は、共済種類を統一評価できるように、共済金額等に所定の換算率を乗じて算出する指標である「推進ポイント方式」における実績です。
2. 項目および共済種類は次のとおりです。
- ・生命万一基盤…終身共済、一時払終身共済、養老生命共済、こども共済、定期生命共済、定期生命共済(逓減期間設定型)、定期特約等
 - ・生存保障基盤…医療共済(主契約)、がん共済、介護共済、一時払介護共済、認知症共済、生活障害共済、特定重度疾病共済
 - ・年金基盤…年金共済
 - ・建物基盤…建物更生共済

(3) 短期共済新契約

支所店別実績

(単位：千円、台、%)

支所店	令和6年3月1日～令和6年8月31日					
	火災共済			傷害共済		
	計画	実績	計画対比	計画	実績	計画対比
依知	1,445	1,580	109.3	216	261	120.8
荻野	1,505	1,751	116.3	141	113	80.1
睦合	1,590	1,722	108.3	99	112	113.1
小鮎	885	964	108.9	126	142	112.7
玉川	530	596	112.5	69	73	105.8
南毛利	1,105	1,328	120.2	138	138	100.0
相川	580	622	107.2	75	80	106.7
清川	380	326	85.8	156	34	21.8
駅前	1,080	1,002	92.8	1,218	935	76.8
合計	9,100	9,891	108.7	2,238	1,888	84.4

支所店	自動車共済			自賠責共済		
	計画	実績	計画対比	計画	実績	計画対比
依知	48,650	50,518	103.8	430	376	87.4
荻野	30,300	32,909	108.6	210	263	125.2
睦合	30,800	31,836	103.4	330	374	113.3
小鮎	26,750	27,488	102.8	250	266	106.4
玉川	17,250	17,849	103.5	160	154	96.3
南毛利	40,000	44,361	110.9	300	316	105.3
相川	29,000	28,828	99.4	270	288	106.7
清川	10,500	11,147	106.2	90	96	106.7
駅前	21,750	24,505	112.7	180	113	62.8
合計	255,000	269,441	105.7	2,220	2,246	101.2

(注) 火災・傷害・自動車共済は掛金、自賠責共済は台数

■ 総合相談事業

支所店・総合相談課を中心に、相続・遺言などのさまざまな相談に迅速かつワンストップで対応できる体制の整備と、顧問弁護士・契約税理士・推薦司法書士などの各種専門家と連携した「三位一体」の相談体制のもと、総合的な相談事業の充実に努めました。

事業承継相談においては、次世代層へのスムーズな事業承継の実践とともに、次世代後継者の資産形成ニーズにも対応すべく、所有資産の把握から財産診断を実施することで、資産の組み換えや節税に関する提案、資産形成を目的としたライフプランサポートを行い、組合員に寄り添った相談事業を展開しました。

- (1) 組合員世帯の現状把握とともに、各種シミュレーションによる提案や遺言信託・民事信託など事業承継を見据えたさまざまな相続対策を実施しました。

項目	実績
相続・事業承継、資産形成・運用相談対応 財産診断・相続税シミュレーション作成依頼件数	153件
遺言信託受託・民事信託組成件数	15件
相続手続き相談対応件数	20件

- (2) 各種専門家と連携し、認知症や事業承継等の相続事前対策として有効な民事信託（家族信託）の契約書作成に向けたスキームの組成と次世代後継者へ承継する遺言代用機能を利用した相続対策の提案に取り組みました。
- (3) 総合相談事業の実践に必要な総合的な節税対策（法務・税務・遺言信託・民事信託等）にかかる職員の知識の向上を目的に、実務経験や職務に合わせた担当者養成研修会をはじめとした各種研修会を実施しました。
- (4) 組合員・次世代後継者の税制対策や資産形成ニーズに対応したセミナーの開催とともに、ライフプランサポートの実践に向けた専門知識を備える担当者の育成を実施しました。
- (5) 記帳代行契約により、複雑化する経理事務に対応したきめ細かな指導を行い、組合員の適正な税務申告と収支改善に取り組みました。
- (6) 土地の有効活用、空室対策等の不動産事業にかかる相談に対して厚農商事(株)と連携し、収益改善提案を実施しました。

■ 高齢者福祉事業

高齢者とその家族が住み慣れた地域で健康で心豊かな暮らしが実現できるよう、認知症サポーター養成講座と介護予防運動教室を開催しました。また、助け合い活動すずしろにおいては「いきいきクラブ」（ミニデイサービス）を5地区で開催しました。訪問介護事業は、引き続き感染症対策に配慮し、安心して利用できるようサービス提供に努めました。

JAあつぎすずしろサービス提供実績（令和6年3月1日～令和6年8月31日）（単位：時間）

区	分	サービス提供時間
介護保険対応	身体介護	2,172.0
	生活援助	1,660.5
	介護予防	2,052.5
	小計	5,885.0
介護保険対応外		90.0
合	計	5,975.0

■ 葬祭事業

家族葬・一日葬がコロナ禍後の葬儀形態として定着する中、葬家の意向を尊重しつつ、受注時には一般葬の提案を行い、多様化する葬儀ニーズに対応しました。また、准組合員向け葬儀サポートセミナーや随時葬儀個別事前相談を行い、組合員・利用者が安心して施行できるよう対応したほか、生産農家を応援するため、厚木産蒸し大豆を取り入れた会葬品の提供や足柄茶を使用した返礼品の推奨に努めました。

葬祭事業取扱実績

（単位：件、%）

	令和6年3月1日～令和6年8月31日				
	計画	実績	前年実績	計画対比	前年対比
取扱件数	234	232	221	99.1	105.0

■ 組合員組織対策

生産組合については、各生産組合の現状やその課題について把握・意見交換を重ねつつ、組織基盤研究チームにおける協議をもとに話し合いをすすめました。

また、准組合員との関係性を深めるための活動については、野菜苗の管理と育て方講習会、野菜の栽培体験のほか、金融事業利用者向けの親子ロールケーキ作り教室など、多彩な活動を展開しつつ、地域農業やJAへの理解促進に取り組みました。

仮決算の状況

■ 貸借対照表

令和6年8月31日現在

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
1 信用事業資産	377,877,542	1 信用事業負債	378,789,326
2 共済事業資産	652	2 共済事業負債	557,180
3 経済事業資産	228,581	3 経済事業負債	292,379
4 雑 資 産	558,031	4 雑 負 債	979,535
5 固 定 資 産	7,686,404	5 諸 引 当 金	1,473,253
6 外 部 出 資	19,157,448	負債の部合計	382,091,674
7 繰延税金資産	926,796	(純資産の部)	
資産の部合計	406,435,456	1 組合員資本	25,525,709
		(1) 出 資 金	2,385,544
		(2) 利益剰余金	23,140,165
		2 評価・換算差額等	△ 1,181,927
		純資産の部合計	24,343,781
		負債及び純資産の部合計	406,435,456

■ 損益計算書

令和6年3月1日から令和6年8月31日まで

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
事業総利益	1,975,835	事業管理費	1,850,010
信用事業総利益	1,270,914	事業利益	125,825
共済事業総利益	406,138	事業外収益	169,787
購買事業総利益	114,055	事業外費用	2,907
販売事業総利益	77,038	経常利益	292,704
その他の事業総利益	148,272	特別利益	215,620
指導事業収支差額	△ 40,584	特別損失	229,903
		税引前当期利益	278,421
		法人税、住民税及び事業税	69,150
		当期剰余金	209,270
		当期首繰越剰余金	1,758,395
		当期末処分剰余金	1,967,665

農協法に基づく開示債権の状況及び金融再生法開示債権区分に基づく債権の保全状況

(単位：千円)

債権区分		債権額	保全額			
			担保	保証	引当	合計
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	令和6年2月末	—	—	—	—	—
	令和6年8月末	259	—	259	—	259
危険債権	令和6年2月末	264,341	177,410	86,931	—	264,341
	令和6年8月末	233,094	175,184	57,910	—	233,094
要管理債権	令和6年2月末	—	—	—	—	—
	令和6年8月末	—	—	—	—	—
三月以上延滞債権	令和6年2月末	—	—	—	—	—
	令和6年8月末	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権	令和6年2月末	—	—	—	—	—
	令和6年8月末	—	—	—	—	—
小計	令和6年2月末	264,341	177,410	86,931	—	264,341
	令和6年8月末	233,354	175,184	58,169	—	233,354
正常債権	令和6年2月末	100,755,439				
	令和6年8月末	101,278,885				
合計	令和6年2月末	101,019,781				
	令和6年8月末	101,512,239				

- (注) 1. 破産更生債権及びこれらに準ずる債権
破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権をいいます。
2. 危険債権
債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権をいいます。
3. 要管理債権
4. 「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と5. 「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額をいいます。
4. 三月以上延滞債権
元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権及び危険債権に該当しないものをいいます。
5. 貸出条件緩和債権
債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権及び三月以上延滞債権に該当しないものをいいます。
6. 正常債権
債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記に掲げる債権以外のものに区分される債権をいいます。

■ 単体自己資本比率

令和6年2月末	令和6年8月末
14.81%	14.83%

- (注) 1. 「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」(平成18年金融庁・農水省告示第2号)に基づき算出しています。
2. 令和6年8月末の自己資本比率算定上、期末の外部流出予定額は未定であることから控除していません。

■ 主要勘定の状況

(単位：千円、%)

	令和5年8月末	令和6年2月末	令和6年8月末	計画対比
貯 金	377,499,615	377,932,362	376,122,145	99.8
貸 出 金	99,856,874	100,968,649	101,422,387	99.9
預 金	240,276,549	238,447,010	235,623,104	100.0
有 価 証 券	38,444,620	38,640,177	38,950,832	96.7

- (注) 計画対比は、8月末計画と実績との対比です。

■ 有価証券時価情報

(単位：千円)

種 類	令和6年2月末			令和6年8月末		
	帳簿価額	時 価	評価損益	帳簿価額	時 価	評価損益
売 買 目 的	—	—	—	—	—	—
満 期 保 有 目 的	—	—	—	—	—	—
そ の 他	39,800,485	38,640,177	△ 1,160,308	40,589,212	38,950,832	△ 1,638,380
合 計	39,800,485	38,640,177	△ 1,160,308	40,589,212	38,950,832	△ 1,638,380

- (注) 1. 8月末の有価証券の時価は8月末日における市場価格等に基づく時価としています。
2. その他目的有価証券の帳簿価額については償却原価適用後、減損適用後の帳簿価額を記載しております。

自己改革の実践計画 取組報告

令和6年8月末現在



J Aの自己改革は、組合員との対話を通じて「自己改革工程表」を策定・実行・進捗管理を行う「自己改革実践サイクル」への対応が本格的に始まりました。

J Aあつぎは、地域にとってなくてはならないJ Aであり続けるため、組合員との徹底した対話を通じ、総合事業を基本とした不断の自己改革をすすめ、持続可能な組織・経営基盤の確立・強化に取り組んでいます。

農業者所得増大に向けた主な取り組み

買取販売の拡大を通じた売上増加

買取数量	年間目標	8月末実績
	187,200点	75,561点 (40.4%)

共計取扱数量拡大を通じたコスト低減

予約注文数量	年間目標	8月末実績
肥料	28,700袋	6,334袋 (22.1%)
農薬	13,000個	10,985個 (84.5%)



地域の活性化に向けた主な取り組み

地区運営委員会による農業体験などの開催

開催回数	年間目標	8月末実績
	9回	7回 (80.0%)

移動販売車による買い物支援

利用者数	年間目標	8月末実績
	11,000人	5,099人 (46.4%)

組合員との対話・意思反映に向けた主な取り組み

職員による組合員訪問

訪問人数	年間目標	8月末実績
	7,800人	7,849人 (100.6%)



准組合員向け活動における直接的な対話・アンケートなどによる意見聴取

実施回数	年間目標	8月末実績	参加人数	年間目標	8月末実績
	14回以上	7回 (50.0%)		300人以上	464人 (154.7%)

経営基盤確立・強化に向けた主な取り組み

組合員の事業利用拡大に向けた総合相談の充実

総合相談件数	年間目標	8月末実績
	140件	153件 (109.3%)



(注) 括弧内数値は年間目標対比

■ 地域貢献活動

全般に関する事項

協同組合の特性

J Aあつぎは、厚木市・清川村を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の皆さまが組合員となつて、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していくこと）を共通の理念として運営される協同組織であり、農業の活性化に資する地域金融機関です。

当J Aの資金は、皆さまからお預かりした大切な財産である「貯金」を源泉としており、資金を必要とする組合員や地域の皆さまにご融資し、暮らしや事業のお手伝いをさせていただいております。

当J Aは、地域の一員として、農業の発展と健康で心豊かな地域社会の実現に向けて事業活動を展開しています。

また、J Aの総合事業を通じて各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域の協同組合として、環境・文化・健康・福祉への貢献活動を通じて、安心して暮らせる明るい社会づくりに努めています。

1. 地域からの資金調達の状況

(1) 貯金・定期積金残高

(単位：千円)

組合員をはじめ、地域の利用者皆さまからお預かりした貯金の残高は3,761億2,214万円（うち定期積金の残高は30億1,209万円）となっております。

資格別貯金残高の内訳は表のとおりです。

組合員等	305,187,901
その他	70,934,244
合計	376,122,145

(2) 貯金商品

目的や預入期間、金額に合わせてご利用いただける各種貯金の取り扱いをはじめ、公的年金受取指定者を対象とした特別金利定期貯金「マル得年金定期貯金」や、農業所得者向け金利上乘せ定期貯金「農業従事者応援定期貯金」などをご用意しております。

2. 地域への資金供給の状況

(単位：千円)

(1) 貸出金残高

組合員をはじめ、地域の利用者皆さまへの貸出金の残高は1,014億2,238万円となっております。

資格別貸出金残高の内訳は表のとおりです。

組合員等	80,563,231
その他	20,859,156
(うち地方公共団体等)	13,156,725
(うち金融機関)	4,000,000
合計	101,422,387

(2) 農業制度融資取扱状況

(単位：件、千円)

農業制度資金とは、農業者が経営の合理化および安定強化等を図ろうとする場

合や、新しい分野への投資を図る場合などに、必要な資金の融資を低利で促進することにより、農業の振興、育成、活性化を図ることを目的として創設されたものです。農業制度資金には大きく分けて、国や地方公共団体が ① J A等民間金融機関の資金を原資とする貸し付けに利子補給などを行うもの ② 財政資金を直接貸し付けるもの ③ 財政融資資金などを原資とするものの3タイプがあります。

種類	件数	残高
かながわ都市農業推進資金	1	100

(3) 融資商品

(単位：件、千円)

組合員への貸し出しをはじめ、地域住民の皆さまの暮らしに必要な資金や事業資金などの取り扱いのほか、各種ローンを取り揃えています。

また、農業者の皆さまには、農業経営に必要なJ A独自の資金である営農資金をご用意しています。

種類	件数	残高
J A農機ハウスローン	136	288,064
アグリマイティー資金	7	38,121

3. 文化的・社会的貢献に関する事項（地域とのつながり）

(1) 文化的・社会的貢献に関する事項

環境問題への取り組み

■ 香典返し・引き物の簡易包装

JAあつぎグリーンホールでは、葬儀での香典返しや法事の引出物の簡易包装に努めるなど、環境に配慮しています。

■ 環境に配慮した機器の斡旋

地球温暖化の原因になる二酸化炭素（CO₂）の排出量を少なくする省エネ型ガス給湯器をはじめ、住宅の複層ガラス化や太陽光発電システム・太陽熱温水器の設置を推奨し、環境にやさしい安全・安心な省エネ生活システムの構築をすすめています。

■ レジ袋削減への取り組み

夢未市・グリーンセンターでは、お客様にマイバッグ等の持参によるお買い物を推奨し、プラスチックごみの削減を推進しています。

■ 古切手・エコキャップ・ベルマーク収集

女性部を中心に古切手・ペットボトルのキャップの回収やベルマークの収集を行い、さまざまな地域・社会貢献活動に活用しています。

地域活動・イベントへの参加

■ 移動販売車「ゆめみちゃん号」と「宅配サービス」の展開

JAあつぎ管内において、買い物に不便を感じている方や地域住民に対し、新鮮な地場農畜産物を届けることを目的に、移動販売車「ゆめみちゃん号」の運行や、需要が増加する農産物の「宅配サービス」を展開しており、併せて地産地消の推進や農家所得の向上に取り組んでいます。

■ 学校給食への取り組み

次世代を担う子どもたちへ、学校給食を通して食の大切さを伝えるため、厚木市内の小・中学校へ地場農畜産物を供給しています。

■ 「フードバンク」への食材の提供

社会貢献活動の一環として、「フードバンク」の取り組みに賛同し、地場農畜産物や6次化商品の提供をしています。

■ いきいきクラブ（ミニデイサービス）開催

高齢者の寝たきりや介護を予防するため、高齢者の生きがいを支援し、健康で心豊かに生活できる地域づくりを目指し、各支所でいきいきクラブ（ミニデイサービス）を開催しています。

■ 認知症サポーターへの取り組み

認知症を理解し、認知症の人や家族を見守る「認知症サポーター」を育成する「認知症サポーター養成講座」を職員や地域住民向けに開催しています。認知症サポーターを一人でも増やし、安心して暮らせる街づくりに取り組んでいます。

■ 高齢者福祉への取り組み

高齢者とその家族が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、介護予防運動等の研修会を開催しています。

■ 「集い処」の開設

在宅支援を中心とした高齢者福祉事業を進めていくことを踏まえ、一部支所において高齢者らの“茶飲み場”として「集い処」を開設しています。

■ 「かながわ未病改善協力制度」の協力団体として登録

JAあつぎ健康寿命100歳プロジェクトと題し、食・運動・社会参加を通じた未病改善に取り組んでいます。

■ 特技技能を活かした交流

J Aあつぎは、地域の伝統的な生活文化や郷土料理、食とくらしに関する新たな技能等の伝承に向け、「ふるさと先生」と「食とくらしのマイスター」制度を設け、地域の各種講習会に派遣しています。

■ あつぎ鮎まつりへの協賛

厚木市の将来都市像である“自分らしさ輝く 希望と幸せあふれる 元気なまち あつぎ”を実現するため、人・企業にとって魅力のあるまちを創造することを目指し、厚木市・厚木商工会議所等とともに、伝統ある「あつぎ鮎まつり」に協賛しています。

■ 厚木市「子育てパスポートAYUCO事業」への参加

地域ぐるみで“子育てを応援しよう！”という趣旨のもとに厚木市内で展開されている子育て支援事業「子育てパスポートAYUCO事業」に参加しています。J Aあつぎはサポーター店舗として子育て世帯を支援しています。

■ 子ども雑誌「ちゃぐりん」を小学校への寄贈

J Aや農業・自然環境への理解を深めるため、J Aあつぎ管内（厚木市・清川村）の小学校に（一社）家の光協会発行の子ども雑誌「ちゃぐりん」を寄贈しています。

■ 食農教育教材本

J Aバンクグループと協力し、食農応援事業として教材本を管内25校の小学校に贈呈しました。

■ J A共済書道コンクール

J A共済では、次代を担う小・中・高校生にJ A共済の理念である相互扶助・思いやりの精神を伝えるとともに、児童・生徒の書道教育に貢献することを目的に書道コンクールを実施しています。

■ ボランティア活動「美化清掃」への参加

厚木市が展開するボランティア活動「厚木市まち美化パートナー制度」の美化清掃に全店舗で参加し、店舗周辺の清掃活動を行っています。

■ 持続可能な社会の実現に向けた取り組みを展開

持続可能な地域農業・地域社会づくりのため、厚木市と市内の企業や大学で組織される「厚木市カーボンニュートラル推進ネットワーク」に参加するとともに、同市が設立した「あつぎSDGsパートナー」に登録し、組合員組織と協力して、SDGsの達成に向けた取り組みを行っています。

■ スポーツを通じた子どもたちの健全育成

NPO法人湘南ベルマーレスポーツクラブが市内全小学校で開催する「巡回授業パートナー」に参画しています。また、厚木市少年野球協会や厚木王子高校女子ソフトボール部と連携し、地域貢献に取り組んでいます。

■ 教育・研究・文化振興に関する協定締結

東京農業大学と包括連携協定を締結し、通年型食農教育事業「親子夢未Kidsスクール」への学生ボランティア参加など、食と農・地域活性化に関する研究などを相互に協力しています。

地域防犯・防災・交通事故防止等への取り組み

■ AED（自動体外式除細動器）を全店舗に設置

病気や事故等の緊急事態に備え、AEDを全店舗に設置しています。

■ 災害時における生活必需物資の調達に関する協定締結

災害時における食糧の安定供給にかかわり、市民の生命および身体を守るべく、厚木市と災害協定を締結しています。また、姉妹J AであるJ Aオホーツク網走と災害時相互支援協定を締結しています。

■ 消防庁消防団協力事業所

従業員が消防団員として活動しやすい環境を整備している「消防庁消防団協力事業所」として、地域住民が安心して生活できる街づくりの一端を担っています。

■ 防災・防火訓練の実施

組合員・利用者の安全確保のため、本所・グリーンホール・各店舗において、防災・防火訓練を実施しています。

■ 厚木警察署管内安全運転管理者会主催行事への参加

安全運転管理業務の適正な運営を推進し、人々を交通事故から守るため、同会主催の事故防止コンクールに参加し、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に取り組み、交通事故防止の徹底を図っています。

■ 交通安全運転講習会の開催

職員の交通ルールの遵守や交通マナーの向上ならびに交通事故防止の徹底を図ることを目的に、厚木警察署より講師を招き交通安全運転講習会を実施しています。

■ 地域見守り活動

業務で個人宅を訪問した際、命の危機の恐れがある場合に市町村などに通報し、高齢者らの孤立死や孤独死を未然に防ぐことを目的に、地域貢献と行政支援の一環として、神奈川県と地域見守り活動に関する協定を締結しています。

各種相談会

■ 法務・税務相談

J Aあつぎの顧問弁護士（1名）による組合員の法律に関する相談を毎月2回、J Aあつぎ契約税理士（8名）による税務相談を年8回開催しています。

■ 年金相談

年金制度や手続き等について、社会保険労務士がご相談をお受けする「年金相談会」を支所店ごとに開催しています。

■ 相続・遺言・民事信託相談

組合員の相続や遺言、民事信託（家族信託）など次世代への事業承継についてのさまざまなお悩みに、本支所店にて総合相談担当者が各種専門家とともに対応しています。

■ 結婚相談

数多くの良縁の誕生を願い、結婚相談のお手伝いを行っています。専任の結婚相談員が丁寧に対応いたします。

■ 福祉相談

在宅での介護に関するお悩みに、福祉課職員が相談に応じています。

■ 葬儀事前相談

葬儀の流れや形態、費用について葬祭ディレクターが個々の相談に随時応じています。

(2) 利用者ネットワーク化への取り組み

■ 助け合い組織 「J Aあつぎ助け合い活動ずしる」

設立：平成12年4月 会員数：55名

ホームヘルパー有資格者等で構成されている助け合い組織です。組合員ならびに地域住民に対し、各支所でいきいきクラブ（ミニデイサービス）等のボランティア活動を行うなど、安心して暮らせる豊かな地域社会づくりに努めています。

■ 年金受給者の会 「J Aあつぎ年金友の会」

会員数：15,358名（12支部）

J Aで公的年金を受給されている会員が、さまざまなレクリエーションや旅行など、会員相互の親睦を図ることを目的に活動しています。

(3) 情報提供活動

■ 情報誌の発行

J Aからのお知らせや組合員・地域・農業に関するさまざまな話題を掲載した情報誌「グリーンアートあつぎ（毎月）」および「グリーンページ（年3回）」、農業に対する理解促進を目的とした「J Aあつぎコミュニティ（年2回）」を発行しています。

■ ホームページによる情報発信

ホームページでは、組合員・地域・農業に関するさまざまな話題やディスクロージャー誌を掲載するとともに、家庭菜園での野菜の育て方など、暮らしに役立つ情報のほか、JAの事業内容や商品、キャンペーンのお知らせなどを掲載しています。また、スマートフォンやタブレット端末にも対応しています。

■ インスタグラムやLINE、YouTubeなどSNSを利用した情報発信

Instagramにより、地域農業や地場農畜産物の情報、各種活動の様子など、旬の話題を写真と動画で発信しています。また、夢未市LINE公式アカウントにて、農畜産物をはじめとした商品や店舗イベントなどの情報を発信するほか、公式YouTube「ゆめみちゃんねる」を通じ、JAの事業活動や食と農などに関する親しみやすい動画を広く発信しています。

■ マスメディア等への情報提供

JAが提供するtvkのテレビ番組「かながわ旬菜ナビ」に企画取材協力し、管内の農業や観光スポットなどを紹介しています。また、日本農業新聞への記事送稿や地元タウン紙等への情報提供により、地域の皆さまへの情報発信に取り組んでいます。

■ ディスクロージャー誌の発行

当JAに対するご理解を深めていただくため、主な事業の内容や組合の組織概要・経営の状況などをまとめたディスクロージャー誌を発行し、情報開示を行っています。

(4) 店舗体制

名 称	店 舗 数
本 所	1
支 所	8
支 店	5
店 舗 (夢未市・グリーンセンター)	2

子 会 社 報 告

厚農商事株式会社営業報告

令和6年3月1日～令和6年8月31日

1. 事業概況

施設建設・営繕事業については、ここ数年の建築資材の高止まりや人件費高騰もあり、共同住宅の建築費も大きな影響を受けています。このような情勢の中、収支に直結する利回りを確保するとともに、財産診断シミュレーションを作成提案のうえ、相続対策における節税効果を確保するため、総合的コンサルティング提案を行った結果、概ね計画に沿った実績となりました。売買事業については、相続による売却をはじめ次世代へ承継する資産のすみ分けや相続対策として有効な投資用物件の購入などにより計画を大幅に上回る実績となりました。賃貸借事業については集客力のある仲介業者へ定期的に訪問し、空室の情報提供および来店者のニーズの聞き取りを行い、改善を図るとともに、築古物件においては設備改善等のリフォーム提案を発信し、入居者に選ばれる物件環境を整え、空室改善に取り組んだ結果、計画を上回る実績となりました。

2. 主要事業実績

(1) 施設建設・営繕事業

(単位：件、千円、%)

項 目	計 画	実 績	前年実績	計画対比	前年対比
施設建設取扱件数	14	15	22	107.1	68.2
営繕取扱件数	800	818	815	102.3	100.4
施設事業供給金額	1,280,000	1,304,694	2,880,314	101.9	45.3

(2) 売買事業

(単位：件、千円、%)

項 目	計 画	実 績	前年実績	計画対比	前年対比
土地建物取引件数	26	36	40	138.5	90.0
土地建物取扱金額	637,500	1,573,154	1,885,634	246.8	83.4

(3) 賃貸借事業

(単位：件、%)

項 目	計 画	実 績	前年実績	計画対比	前年対比
賃貸借物件仲介件数	1,460	2,033	2,225	139.2	91.4

3. 貸借対照表

令和6年8月31日現在

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
1. 流動資産	609,784	1. 流動負債	102,681
現金及び預金	538,879	2. 固定負債	124,814
その他の資産	70,964	負債合計	277,495
貸倒引当金	△60	(純資産の部)	
2. 固定資産	149,130	1. 株主資本	531,419
(1)有形固定資産	18,284	(1)資本金	50,000
(2)無形固定資産	1,989	(2)利益剰余金	481,419
(3)投資その他の資産	128,856	純資産合計	531,419
資産合計	758,914	負債・純資産合計	758,914

4. 損益計算書

令和6年3月1日～令和6年8月31日

(単位：千円)

科 目	金 額
売上高	556,070
売上原価	350,017
売上総利益	206,052
販売費及び一般管理費	117,334
営業利益	88,717
営業外収益	2,426
営業外費用	—
経常利益	91,144
特別利益	—
特別損失	—
税引前当期純利益	91,144
法人税、住民税及び事業税	33,007
当期純利益	58,137

組合理念

(組合が存在する意義、理由、目標を表わしたものです)

夢ある未来へ
人とともに、街とともに、大地とともに…

『夢ある未来』とは

人とともに

人とのふれあいを通じ、人々の健康で心豊かな生活を築いていきます。

街とともに

地域住民との交流を深め、いろいろな活動を通して住みよい街づくりをすすめていきます。

大地とともに

自然を愛し、緑豊かな地域農業をすすめていきます。

『人』とは、組合員をはじめとする地域住民を表わします。

『街』とは、人々の生活基盤であり、地域社会を表わすものです。

『大地』とは、豊かな農業環境をつくり出す、緑・水・土などの自然そのものです。

経営方針

(組合理念に基づいて、組合の資源(人、金、物など)をいかに有効に活用し、成果を上げるかという基本になる考えを表わしたものです)

- さまざまな生活文化活動を通じ、住みよい地域社会づくりに貢献する。
- 経営の安定と体制強化をはかり、時代の変化に対応した事業を展開する。
- 役職員の資質を更に高め、利用者ニーズに応えられる人材を育成する。

厚木市農業協同組合

ホームページ <https://www.ja-atsugi.or.jp/>

本 所／厚木市水引 2-9-2 TEL.046-221-1666(代) ATM1 台

総務部		リスク管理部	
庶務課	046-221-1666	リスク管理課	046-221-7292
人事課	046-221-1666	コンプライアンス課	046-221-7292
総合企画部		監査室	
企画課	046-221-1512	検査課	046-221-1666
管理課	046-221-1512	経済部	
情報システム課	046-221-1512	購買課	046-221-0454
事業改革対策室		燃料課	046-221-0454
	046-221-1666	農機課	046-221-0454
金融部		葬祭課	046-221-1800
貯金課	046-221-1755	指導販売部	
業務課	046-221-1755	総合販売課	046-221-2273
融資課	046-221-1755	営農指導課	046-221-2273
資金運用課	046-221-1755	地域農業対策課	046-221-2273
共済部		組織文化部	
共済課	046-221-7115	組織基盤対策課	046-221-6881
査定課	046-221-2866	生活ふれあい課	046-221-6881
総合相談部		福祉課(すずしろ)	046-225-7716
総合相談課	046-259-7776		
推進課	046-259-7776		

依知支所	厚木市関口833	046-245-1303	ATM1台
荻野支所	厚木市鳶尾5-26-28	046-241-1415	ATM2台
睦合支所	厚木市妻田北4-8-1	046-224-1311	ATM2台
小鮎支所	厚木市飯山2336-3	046-241-1806	ATM1台
玉川支所	厚木市小野2444	046-248-0316	ATM1台
南毛利支所	厚木市温水948-1	046-247-5270	ATM2台
相川支所	厚木市酒井1422-1	046-228-3325	ATM2台
清川支所	愛甲郡清川村煤ヶ谷2220-5	046-288-1336	ATM1台
愛甲支店	厚木市愛甲1-4-12	046-247-6077	ATM1台
駅前支店	厚木市泉町3-13	046-228-0148	ATM2台
宮の里支店	厚木市宮の里1-2-7	046-241-1172	ATM1台
北支店	厚木市下川入321-1	046-246-0211	ATM2台
依知南支店	厚木市下依知2-1-1	046-246-4611	ATM1台
夢未市	厚木市温水255	046-290-0141	
グリーンセンター	厚木市三田1827-1(営農経済センター「あぐりべえ」内)	046-241-6150	
ライスセンター	厚木市三田1827-1(営農経済センター「あぐりべえ」内)		
アンテナショップ Tomoni	厚木市泉町3-13		

厚農商事株式会社

ホームページ <https://www.atsunou.co.jp/>

JAあつぎ本所内1階	厚木市水引 2-9-2	046-224-1555 (営業1課・2課・3課)
		046-240-0227 (賃貸管理課)

厚木市都市農業支援センター

JAあつぎ本所 指導販売部内	厚木市水引 2-9-2	046-221-5511
-------------------	-------------	--------------